

助け合い 長崎

“いこいの広場”



東日本大震災により、被災された皆さまに、心からお見舞い申し上げます。

3月11日、街が津波に飲み込まれていく映像に、日本中が衝撃を受け、誰もが「私にできることはないか」と考えました。そして、多くの義援金や支援物資、応援のお手紙などが集まっています。今、日本中が一丸となって、東日本大震災という大きな敵と戦っています。

そして、私たち長崎市立市民病院も震災に挑んでいます。震災後、すぐに災害対策本部を立ち上げ、DMAT(災害派遣医療チーム)の福岡派遣、救護班の岩手派遣、備蓄の食糧や毛布の提供、義援金の受付などを行ないました。ここでは、救護班を代表して、リーダーの井上啓爾外科診療部長の感想文を掲載します。

まず、今回の救護班に参加させていただいたことを市民病院の皆様感謝いたします。

3月16日～3月24日までの間、東日本大震災の救護班として6名で任務につきました。現地までは救急車で移動し、岩手県釜石市南部の唐丹(とうに)地区の避難所(8ヶ所)救護にあたりました。

岩手県に入るまでは、あらゆる人の応援があり、現地では、未曾有の大震災の中、必死にたくましく生きている人たちに感動いたしました。私たちは、今回の活動を通して医療者であることの誇りを強く感じました。

- 印象的な出来事がありました。 -

70歳ぐらいの御夫婦でしたが、診察が始まる時間の前に、奥様が被災地を探してから帰ってこられたようでした。小さなお仏像をタオルで丁寧にふいてから、「今日一日探してやっとこれを見つけた。なにもかも無くなって、これ一つ、ご先祖様を見つけた。」と、足の不自由なご主人に、泣き崩れておられました。前日の診察では、ごく普通に、「薬が流されてしまったから、血圧が高くなってねえ」と話しておられた方です。ここにおられる方々は、明るく振る舞っているものの、そうでもしないと悲しみに引きずり込まれてしまうのでは、と考えさせられました。私たちが診察するという行為は、当然、体の不安を取り除くものではありませんが、一

方で、今はない日常生活を強く感じさせるものだったのかもしれない。

私たちの仕事は患者さんの病を治すことですが、ここで大切なのは、診療という行為を通して、患者さんを悲しみの淵から、以前のありふれた日常へ帰すことを手伝っているということではないでしょうか？

外科診療部長 井上啓爾



4月24日からは、救護班の2チーム目を福島県に派遣しました。今後も私たちは、私たちにできる最善の努力を続けていきます。

がんばろう！日本！！

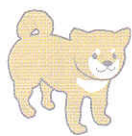




〈柴犬けんたの院内ぶらりさんぽ♪〉

放射線科の 福田 俊夫 主任診療部長に聞きました！

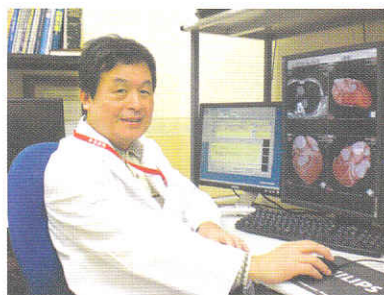
紹介します。これがあなたを守ります。



3月11日、皆さんはどう過ごしていましたか？今、日本が一つになってがんばっているね。スポーツ界も、野球やサッカーなど各競技でチャリティーマッチが行なわれているよね。サッカーでは、Jリーグ最年長の三浦知良さんが日本代表から1点をもぎ取ったシーンに特に感動したワン。おいらも、できるだけのことを今後もやってみるワン。

さて、話は変わるけど、スポーツといえは、以前東京マラソンに出場したタレント・松村邦洋さんが倒れたよね。日本人の死因第2位なのですが、覚えていますか？心臓病ですね。心臓病を未然に防ぐためには、日ごろの生活習慣も大切だし、発作が起こる前に心臓に起こる問題を早く見つけることが大切だよ。今回は、心臓が元気かどうか検査する方法について、聞きに言ってみるワン。

〈放射線科福田主任診療部長に突撃！〉



福田 俊夫
(ふくだ としお)
放射線科主任診療部長
領域：放射線診断一般
趣味：読書・将棋

柴犬：先生、心臓を調べる検査ってどんなのがある？

Dr：当院には、マルチスライスCTという機械があります。このCTは、冠動脈という心臓の血管を映し出すことができます。

柴犬：よくわからないけど、それは、大変な検査？

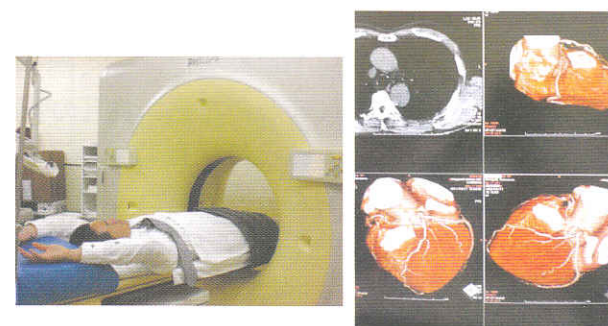
Dr：この心臓CT検査は、前と比べてずいぶん楽になりました。というのも、以前は肘や足の付け根からカテーテルという細い管

を心臓まで通す「心臓カテーテル検査」という方法しかありませんでした。これは、すごくきれいに写るので見やすいのですが、患者さんへの負担が大きく、入院を必要としました。しかし、この心臓CT検査では、静脈から造影剤を入れて映し出すために、とっても楽で、なんと外来で行うことができます。

柴犬：そっか！そんなに楽なら一度検査してもらいたいワン！

Dr：心臓の病気を見つけるのは、この検査の他にも、心電図やエコー検査など色々あります。心臓について詳しく調べてもらいたい方は、まず循環器の専門医に相談してみてくださいね。

柴犬：わかったワン！心臓の発作は、ほんとに怖いからみんなにも伝えるね！先生、ありがとう！



〈お問い合わせ〉 1階 放射線科外来



お知らせ掲示板



No.2 糖尿病と上手に付き合う。

市民病院ではインスリン自己注射手技指導やフットケアも行っています。

みなさん、こんにちは。

糖尿病教室を、昨年11月からリニューアルし、回数・内容ともに充実を図ったのですが、ご存知でしたか？

昨年、赴任された藤田成裕先生（日本糖尿病学会専門医）を中心に、各医療スタッフ一丸となって、患者の皆様のサポートを行っています。

糖尿病患者さんに知っていただきたい最新情報（治療や合併症、食事や薬のこと、適した運動や検査値の見方など）を提供しています。

新たなスタッフも加わり、より深〜く話を聞いていただけるようになりました。また、座談会もあり、患者さん同士の意見交流の場も設けています。

今は、6回と回数も多いため、主に教育入院の患者さん向けに行っていますが、外来患者さんも、参加可能です。今後は、外来患者さん向けの教室も検討していきたいと考えています。

まだまだ、十分な内容とは言えませんが、少しずつ進化していきますので、どうぞご期待ください。

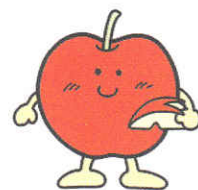


《糖尿病教室のご案内》 教室開催時間：13:30～14:30（水曜から金曜）

順番	1回目	2回目	3回目
内容	管理栄養士講話 「食事療法のポイント」 「食品交換表の見方」	医師講話 「糖尿病ってどんな病気」 「糖尿病の診断」 「糖尿病の合併症」	管理栄養士講話 「外食の工夫」 「減塩の工夫」 「健康・栄養食品」
順番	4回目	5回目	6回目
内容	糖尿病のビデオ鑑賞 検査技師講話 「糖尿病の検査及びデータからみえる血糖コントロール状況」	薬剤師講話 「血糖を下げるのはどんな薬」 「インスリン注射薬」 「経口血糖降下薬」 看護師講話 「日常生活の注意点」 「口や足の手入れ」 「シックデイルーム」	理学療法士講話 「運動療法の効果と目的について」 「運動療法を始める前に」 座談会

※予約制です！

糖尿病にお悩みの方は、まず医師または看護師に相談してみてくださいね☆



栄養管理部より

病院の理念

いかなる時も優しさをモットーとして、市民の健康を守るため、地域と密接な連携のもと良質で安全な医療を提供します。

病院の基本方針

- 1 病気を治すために必要な最新で正しい知識・技術の習得に努めます。キーワード：科学的、理論的、EBM、正確、安全性、高度医療
- 2 患者さんとその周囲の人々を癒す気持ちを持ち続けます。キーワード：人間性、哲学、宗教心、暖かさ、奉仕
- 3 地域医療支援病院として、病院内外の連携を密に地域で頼れる存在であり続けます。キーワード：協調性、チーム医療、連携、地域医療

患者の権利と責務

1.患者の権利

- (1) 全ての人にはその人格、価値観などを尊重され、医療提供者との相互の協力のもとで、公平に良質な医療を受ける権利がある。
- (2) 医療を受ける際には、理解しやすい言葉や方法で、診療内容に対して十分な説明を受け、必要な場合には第三者の意見を聞くことができ、その上で治療方法などを自らの意思で選択する権利がある。
- (3) 自身の診療記録などの開示を求める権利がある。
- (4) 基本的人権とプライバシーが守られる権利がある。

2.患者の責務

- (1) 医療提供者に対し、求められる情報をできるだけ正確に提供する責任と義務がある。
- (2) 他の患者の医療に支障を与えないよう配慮する責任と義務がある。



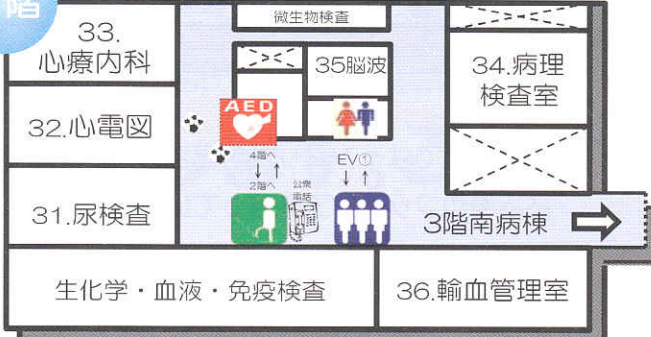
院内案内図

本館

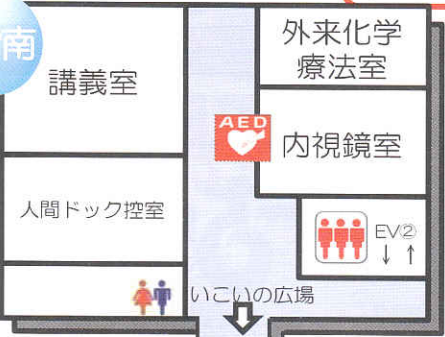
別館

敷地内
禁煙

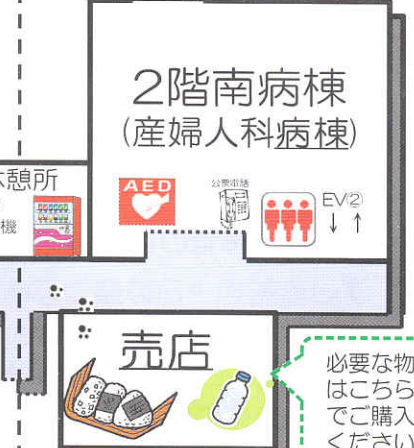
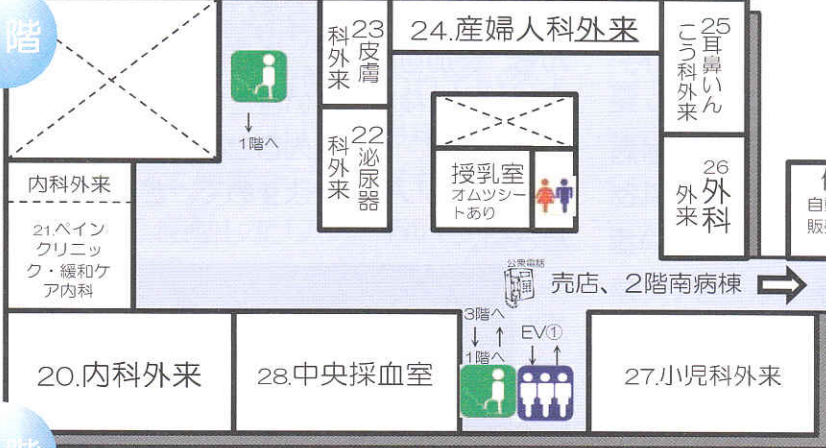
3階



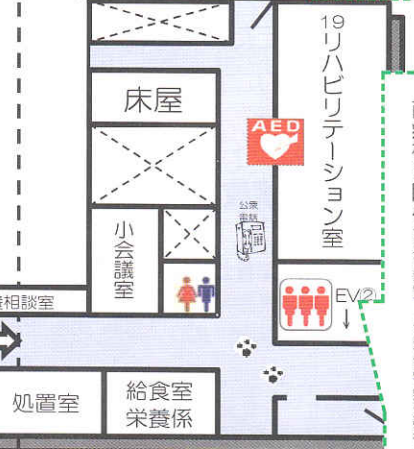
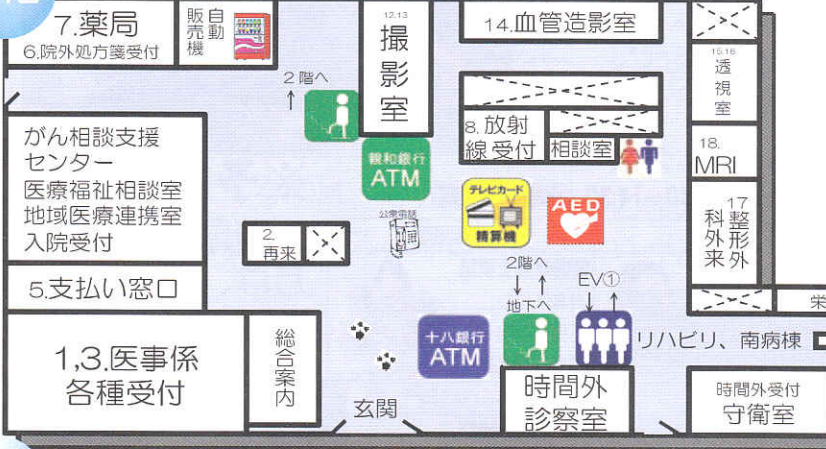
5階南



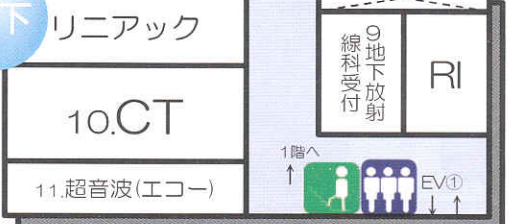
2階



1階



地下



病棟、手術室、霊安室 ※AEDは各病棟にもあります。
 5階東・西、6階東・西、7階東・西病棟と手術室(4階)は**本館**です。エレベーター① をご利用ください。
 2階南、3階南、4階南病棟、霊安室(地下1階)は**別館**です。エレベーター② をご利用ください。

<外来診療案内>

- 診療時間 午前8:45~午後5:30
- 受付時間 午前8:30~午前11:00 (ただし、救急患者及び予約患者を除く)
- 休診日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始 (ただし、救急患者を除く)

<面会時間>

- 一般病棟(小児科病棟(4階南)以外)
平日/午後 3:00~午後 8:00
休診日/午前 11:00~午後 8:00
- 小児科病棟(4階南)
全日/午後 3:00~午後 7:00

<脳トレ腕試し>

災害知識〇×クイズ!

- ① 知人から聞いた災害に関する情報は正しいので、みんなに教えた。
- ② 支援物資は、賞味期限が長いものを、中身がわかるように整理して送る。
- ③ 「もしもの時」に備えて準備をしている。

※携帯電話は指定の場所で他の方のご迷惑にならないようご使用ください。

発行：長崎市立市民病院広報委員会
 問合せ：医事情報課 095-822-3251(代表)